

学校教育目標 笑顔生み出す児童の育成

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
育てほしい児童の姿	<p>入学当初の児童の姿</p> <ul style="list-style-type: none"> ○楽しいことや好きなことに集中することを通して学んでいる。 ○諦めない姿勢や頑張る練習する姿がよく見られる。 ○遊びを中心として、頭や心や体を動かし、対象と直接関わりながら総合的に学んでいる。 ○黙って話を聞いたり、お昼寝なしで活動したりすることができる。 ○日常生活の中で、言葉や非言語によるコミュニケーションによって他者と関わり合っている。友達と話し合ったり、遊びを決めたり折り合いをつけたりできる。 ○小学生になることを楽しみにしている。「分からない」が言える。 ●時計の読み方は十分ではない。 ●言葉だけの指示では、十分伝わらないことがある。視覚支援が有効。 ●言葉遣い・情緒の安定が気になる。 	<p>視覚支援をする。</p> <p>姿勢の指導が必要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他学年の授業参観を通して、小学校での学び方がわかる。 ・自分の目標をもって運動会に参加している。 ・時間を意識して気持ちを切り替え、次の行動に移っている。 ・職員室など他の教室への出入りのマナーを守っている。 ・読書に関心を持ち、簡単な絵本などを積極的に読んでいる。 	<p>時計の指導が必要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・時間を意識して気持ちを切り替え、次の行動に移っている。 ・職員室など他の教室への出入りのマナーを守っている。 ・読書に関心を持ち、簡単な絵本などを積極的に読んでいる。 	<p>1～6月までを接続強化期間と設定し、園所作成のアプローチカリキュラムやスタートカリキュラムに準じた指導を重点的に実施する。</p>	<p>期待する児童の姿</p> <ul style="list-style-type: none"> ○【感じる】五感を使って気付いたり感じ取ったりしたことをもとに、課題を見つけ自分なりに追求しようとしている。 ○【考える】時間の区別をつけながら自立的に生活を組み立て、言語を媒体とする授業の中で、既習事項や体験したことを生かして考えようとしている。 ○【実行する】学習の中で、話したり聞いたり、読んだり書いたり、一緒に活動したりすることで他者と関わり合いながら課題を解決しようとしている。 							
主な学習活動	<p>単元名「わくわくどきどきしょうがっこう」(40H)</p> <p>国語「おはなまききいたな」(2H)「なんていおうかな」(2H)「どうぞよろしく」(3H)</p> <p>「こんなものみつけたいよ」(2H)</p> <p>図工「好きなものいっぱい」(2H)「おしえてみんなの好きなもの」(2H)</p> <p>「好きなものいろいろあるね」(2H) 音楽「うたっておどってなまよくなるう」(4H)</p> <p>道徳「がっこうだいすき」(1H)「きもちのよいせいかつ」(1H)「あかるいあいさつ」(1H)</p> <p>生活「がっこうだいすき」(11H) 体育「からだほぐしのうんどう」「ゆうぐあそび」(7H)</p>	<p>単元名「さいごまでやりきろう～めざせ〇〇名人～」(40H)</p> <p>国語「こえにだしてよもう」(1H)「よくきいてはなそう」(2H)</p> <p>「ぶんをつくろう」(4H)</p> <p>図工「チョッキンパッドかざろう」(4H) 音楽「はくをかんじとろう」(6H)</p> <p>生活「がっこうだいすき」(9H) 体育「かけっこ」(3H)「りれーあそび」(3H)</p> <p>学校行事「運動会」(6H) 学活「掃除の仕方」(2H)けん玉チャレンジ</p>	<p>単元名「じぶんでできるよ」(25H)</p> <p>国語「おおきくなった」(4H)「は・を・へをつかおう」(3H)</p> <p>「すきなものをあに」(7H)「こんなことがあったよ」(6H)</p> <p>生活「なつのことをつたえよう」(1H)</p> <p>算数「あわせていくつ」「のこりはいくつ」(2H)</p> <p>学活「かりをきめよう」「とうばんをきめよう」(2H)</p>	<p>第1学年年間指導計画に基づく学習活動に接続していく。(合科的・関連的な学習活動を含む)</p>								
環境構成の留意事項	<p>友達や先生との関わりを増やし、人間関係を広げること</p> <ul style="list-style-type: none"> ○入学当初は園所と同じような生活スタイルを意識し、授業は設定保育の延長上にあるという意識を持つ。 ○まず指導者が「あたたかい聴き方・やさしい話し方」を意識し、児童が安心して表現できるようにする。 ○机の形を固定化せず、学習場面に応じて意図的に変えたり、椅子だけで移動させたりすることで、子供同士の距離感を縮め、豊かな関係性の中で学習できる環境を作る。 	<p>学びの動機づけを図ること</p> <ul style="list-style-type: none"> ○教室の背面や側面に子供の絵や文など、学びの足跡を掲示することで次の活動の意欲を高めたり、自分から進んで活動したりできるようにする。 ○前面掲示をシンプルにしたり、見えやすいように児童を集めたりして集中できる学習環境を作る。 ○運動会に参加したり、他学年の授業参観に行ったりすることで上学年の姿を目にする機会を意図的に設け、目指す姿をイメージさせる。 	<p>生活の自立を促すこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ○一日の予定や学習活動の手順を、文字や絵、写真などで提示し、見通しをもって学習したり活動したりできるようにする。 ○自分で自分の活動を決め、自由に取り組むことができる時間と場所を確保する。 ○今の活動の終了時刻や次の開始時刻を最初に知らせることで時間の意識を持たせる。 ○10月から縦割り班そうじを実施し、異年齢集団の中でも自立した生活が送れるようにする。 	<p>保小合同活動への展開</p> <ul style="list-style-type: none"> 【学活・生活】なかよしタイム ○小学生と年長児との遊びや交流を計画し、児童主体で実施する。 【学校行事】学習発表会 ○保育所と1年生とで互いに発表練習を見合い、感想を伝え合う。 【学校行事】避難訓練 【生活】あたらしい1年生をしょうたいしよう ○入学説明会で実施する交流会を計画し、楽しんでもらえるように考えながら準備し実施する。 								
児童連携	<p>○筒賀保小合同運動会 筒賀保育所以外の園児も参加できるプログラムの実施。</p> <p>○サツマイモ栽培 筒賀保育所と共同の場所に畑を作成し、焼き芋を実施</p> <p>○保小合同活動 園所の園児と小学校児童との合同活動を通して、相互のつながりを育み、豊かな関係性を築</p> <p>○入学説明会 ・小学校での生活について紹介したり一緒に遊んだりして園児に入学への期待を持ってもらえる活動を考えさせる。</p>											
組織連携	<p>○なかよしタイム 筒賀保育所とこども園とごうちとの連携を日常的に行い、実施。※年少・年中(全園児)とのなかよしタイムを考える。新1年生の活躍の場。(3年間のカリキュラムで考える。)全児童との交流も。</p>											
家庭連携	<p>○学級懇談会や家庭訪問で保小連携の取組を紹介したり、スタートカリキュラムについて説明したりするなど、保護者に安心感をもってもらう。</p> <p>○学級通信に児童のがんばりや学習成果物などを掲載し、学校と保護者のより良い関係性を築く。</p> <p>○基本的な生活習慣を定着させるため、健康カードの取組をお願いする。</p> <p>○基本的な学力を定着させるため、音読カードや計算カード、長期休業中の宿題など、家庭での取組をお願いする。</p> <p>○登校渋りがある場合は一緒に登校するなどできる範囲で登校に意識が向くような働きかけをしてもらえるようお願いする。</p>											
備考欄	<p>○筒賀小学校区における幼保小接続の土台となる考え方を園所、小学校の間で共有しておく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育士、教員の子供に対する見方、考え方や職務遂行上の文化の「違い」を認識し、その上に立つこと。 ・公開保育や公開授業を積極的に行い、授業・保育評価票を用いて情報共有を図ること。 <p>○全教職員の共通認識のもとカリキュラムを遂行するとともに、随時次年度の協力体制を整えること。</p> <p>○認定こども園とごうちとの交流はICTを活用して実施できるよう環境を整える。</p>											